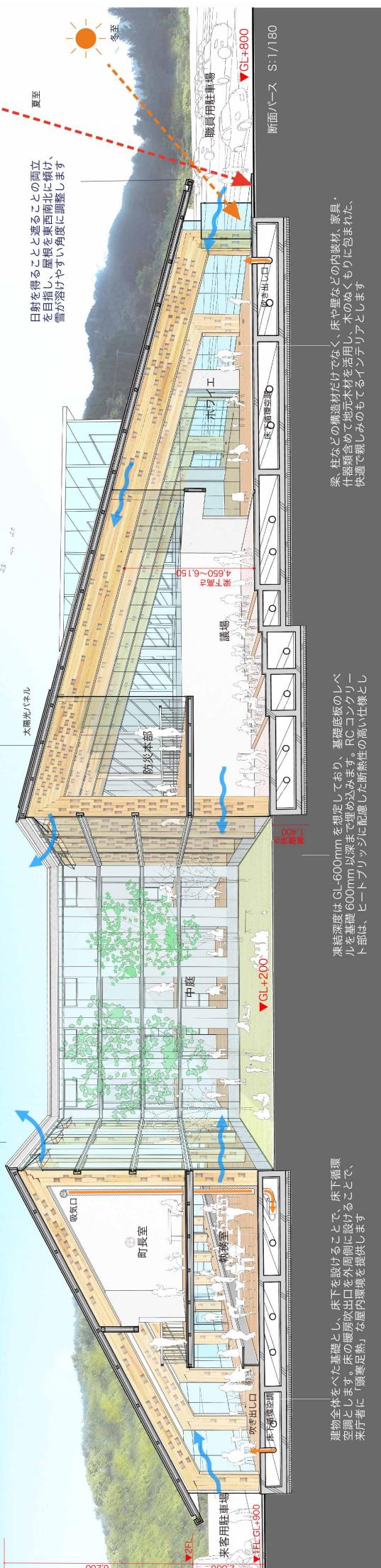


03 環境に配慮した長持ちする役場

夏涼しく、冬暖かい町役場」のために、自然エネルギーを活かした形態で、自然と共にある庁舎の姿を具現化します。自然換気による煙突効果を活かし、太陽光等の再生可能エネルギーを利用して、負担の少ない空調計画を提案します。

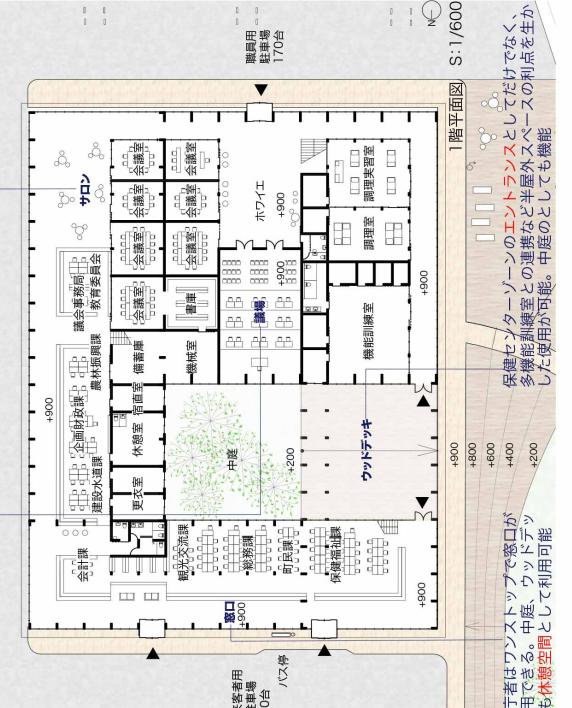
木の高さを抑え、木の側面に向け開口を設けます。



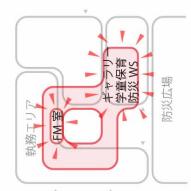
ふたつの円環による使いやすい役場

また、防災意識の醸成や防災知識の普及、防災訓練の実施など、地域社会全体での防災活動を推進するための取り組みも重要な役割を果す。地域住民が自ら活動を担うことで、より実感的で身近な防災情報を得られるようになる。また、地域間での情報交換や連携によって、より効率的な防災体制が構築される可能性がある。

「ワーキング・ミーティング」は、議場・中庭と連続的な利用が可能で、議場としてだけでなく、町民ホールとして様々なイベントに対応



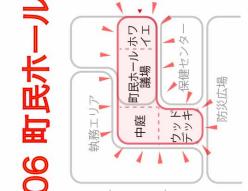
05 防災本部の日常利用



梁、柱などの構造材だけではなく、床や壁などの内装材、家具・什器類含めて地元木材を活用し、木のぬくもりに包まれた、快適で親しみのあるインテリアとします

防災本部がチャラリーや防災教育の場に、「日常応用する」防災意識を高め、災害への備えを両立させます。FM室で情報を町民に伝えることで、町民はFM室へ向けて「常に最新情報を得る」という意識が生まれます。

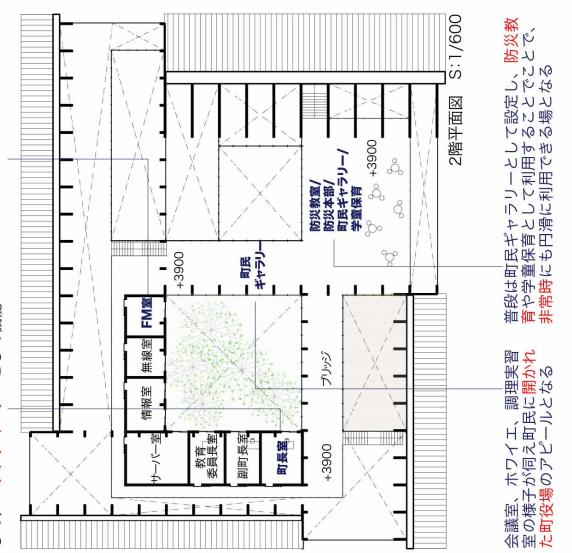
06 町民ホールとなる議場



基礎床板のレベルを想定しており、基礎床板の深さはGL-600mmを想定しております。RCコンクリートフレームを基礎600mmまで埋め込みます。ヒートプリッジに配慮した断熱性の高い仕様とし

—、会議室などが全て環状にならびます。

町民への情報発信を担うFM室は、中庭に向けられ、公開放送などイベントに利用可能



07 保健センターと運動する中庭・防災広場



保健センターは老若男女が利用し、またも機能することで活動が充実し、**町民の健康**を促進します。防災広場では災害時など様々な人が利用し、またも機能することで活動が充実し、**町民の健康**を促進します。**町民の健康**を形成し、外の世界とつながることで、町民の健康を保つことができます。

防災教育は、町民がより安全で安心して暮らすことができるよう、防災知識の普及や防災訓練などを実施する活動である。